



町長室だより

築上町長 新川 久三

新緑から濃緑の時季となりました。また、田植えも盛んになり梅雨も近づいて参りました。

アサリのシーズン終わる次年度以降のアサリ対策

三月から解禁した潮干狩りも終わり、アサリ貝の増殖の期間となりました。最近では稚貝の放流をすれども資源が減少し、潮干狩り客の方々から「貝掘りに来ても貝がない」と、漁協や役場に苦情の電話があり、双方共に苦慮しているところです。

豊前市にある福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所では、アサリ貝の増養殖が何とかならないかと考え、現在かぐや装置による養殖実験を行っており、かなりの成果が得られて養殖可能な状況になりつつあります。

さて、三重県鳥羽市の鳥羽

第2回築上町議会を 6月4日召集

6月議会を4日に召集します。この議会の案件は当初予算で数名の議員から修正案が出され、その修正案が可決され予算が認められなかった稚田地区の保育園建設設計費、築城中学建設設計費を再度提案します。多くの子ども、保護者の皆様が大いなる期待をされている案件です。十分な審議をし、承認していただきたいものです。

松鳳山大健闘

元大関若島津さんが率いる松ヶ根部屋から親方の名跡が松ヶ根から二所ノ関に変わり、新たに名門二所ノ関部屋が復活しました。

松鳳山は部屋唯一の関取であるとともに、我が郷土の相撲取りとして大活躍をして築上町の名声を上げてほしいものです。皆さま、応援よろしくお願ひします。

梅雨の到来で食中毒の多い時季となり、町民の皆様におかれましてはご自愛いただき、健康に気をつけていただきませうようお願いいたします。

民生委員児童委員活動のご理解とご協力を

5月12日の「民生委員・児童委員の日」に、街頭啓発をメタセの杜、ルミエール、JA椎田ふれあい市場の三カ所で実施しました。揃いのユニフォームを着用し、協議会ののぼり旗を新調して、活動を実施しました。当日は、10数名の会員によるチラシ配布などの活動に取り組みました。

キャッチフレーズとして「広げよう 地域に根ざした思いやり」を掲げています。また、行動宣言として、
1 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。

2 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。

3 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。

4 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。

5 日頃の活動を生かし、災害時に要援護者の安否確認を行います。

を掲げ、安全で安心な福祉のまちづくりを目指して、多くの関係機関と連携して、さまざまなお取り組みを推進しています。地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

